

株式会社富士精工

超高粘度液体（機能性塗料等）における メーカー推奨認定の汎用攪拌体試作

安全かつ効率的な新技術

羽根のない攪拌体を使った
攪拌技術で数々の特許を有す
る。主力商品の攪拌体「C-
Mix（シーミックス）」のユ
ニークな点は半球状（または
ワイドレンジ型）をした攪拌
体だ。

攪拌体の底

から側面に抜
ける穴が開い
ており、これ
をシャフトの
先端に取り付
け、液体の中
で回転させる。
すると底の穴
から吸い上げ
られた液体が
遠心力で側面
の穴から吐き
出され、竜巻
状の水流が発
生。これによ



C-Mix。底の穴から吸い上げられた液体が側面の穴から吐き出され、容器内で竜巻状の水流を発生させる

り液体を満遍なくかき混ぜる
仕組みだ。

羽根がない攪拌体は液体中
の材料（添加物）や容器を壊
したり傷つけたりすることが
なく、また安全に作業を行う
ことができる。攪拌機に付いた

羽根は時として凶器にもなる。
またC-Mixは独特の水
流を発生させるため底部に沈
殿物が残らず、液体が泡立つ
こともない。気泡が発生しな
ければ接着剤や塗料などを作
業前に脱泡機にかけて空気を
抜く手間も省ける。

2012年のC-Mix発売
後、ユーザーから「接着剤や
機能性塗料などの高粘度材料
に使える攪拌機が欲しい」と
いう声が寄せられるようになっ
た。富士精工はものづくり補
助金を受け、2015年2月
から試作品の開発に着手。穴
の形状や大きさ、角度などの
研究を重ね、同年9月に新商
品として完成させた。

子会社のアクアテックスを
通じセールスに力を入れてい
るが、商品としての認知度は
まだ足りないという。管理部

の伊藤嘉文マネジャーは「C-
Mixが新しい攪拌技術で
あり、こんな問題解決に役立
つということを多くの方々に
知っていただくことが大切」
と話している。

■株式会社富士精工

本 社：ふじみ野市鶴ヶ舞3-4-5

代表者：代表取締役社長 下司英人

設 立：1970年1月 資本金：3500万円 従業員数：80人

電 話：049 (262) 5777

メ モ▶富士精工の起源は1965年4月創業のロッドアンテナメーカー、富士精
機製作所。各種センサー、ヒーター製造のOEM事業や特殊金属の溶接
加工にも取り組む。